

「腎細胞がんの手術検体を用いた臨床研究」についてのご説明

～日本人腎細胞がん患者におけるPD-L1発現状況に関する多施設共同レトロスペクティブ研究～

1. 研究の目的

この臨床研究の目的は、腎細胞がん患者さんのがんの組織に発現しているタンパク質（PD-L1）が、腎細胞がんの治療に対する効果や予後にどのような影響をするのかについて検討することです。

2. 対象となる患者さん

- ① 2007年～2017年間に腎細胞癌に対する手術を受けておりその検体が保管されている方
- ② 2010年～2015年間に再発転移性腎細胞癌に対する薬物治療を開始しており、治療前の腎摘除手術検体が保管されている方

3. 研究の方法

腎細胞癌手術検体を国内の検査機関に集めてPD-L1検査を行います。また2010年～2015年間に腎細胞癌に対して薬物治療を行った患者さんについては過去の診療録から腎細胞癌に関する治療に関する情報も調査します。研究の方法に関する資料は、問い合わせ先にご連絡いただくことで閲覧可能です。

4. 研究の実施期間は2018年11月から2019年12月までを予定しています。

5. 研究組織

研究依頼者：中外製薬株式会社

（試料提供先）

株式会社エスアールエル

国立がん研究センター 先端医療開発センター

（情報提供先）

株式会社エスアールエル・メディサーチ

6. 個人情報の保護について

登録された研究参加者の同定や照会は、登録時に発行される登録番号、生年月日および患者さんごとに付与された識別番号を用いて行われます。氏名などの直接患者さんを特定できる情報が、データベースに登録されることはありません。

7. 問い合わせ先

この臨床研究について、心配なことや、わからないことは、研究責任者または研究分担者に申し出て下さい。また、本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出て下さい。

国立大学法人 大阪大学医学部附属病院

研究責任者：泌尿器科 植村 元秀

連絡先電話番号：06-6879-3531